

(4面から続く)
議等は使用料免除の対象とし
ないと、運用を変更していま
す。

なぜ、このような運用に変
更したのか、その理由の説明
を求めるとともに、社会福祉
活動団体が行う内部的会議は
なぜ「社会福祉活動」に当た
らないのか、説明を求めます。
福祉部長 運用を変更した
理由については、当時の利用
状況も踏まえながら、総合的
な視点で見直したものです。
団体の内部的会議については、



小野 たづ子 議員《公明党》

学校トイレ洋式化の
早期対応を

学校トイレの洋式化につい
て、中でも中学校女子トイレ
の洋式化の要望が相次いでい
ます。学校トイレの改修、改
善の要望は、十数年前から、
特に小学校トイレについて多
くあり、一般質問でも取り上
げ、小学校トイレの改修、洋
式化は進展してきていると認
識しています。

そこで、中学校トイレの現
状を調べてみたところ、相模
中学校は、平成27年の夏休みに
改修工事が完了しています。
また、座間中学校・栗原中学
校・南中学校には直接伺うな
ど現状把握に努めたところ、
多少の違いはあるものの、洋
式化が進んでいる学校はまだ



安田 早苗 議員《公明党》

子育て支援の充実に向け
予防接種メールの配信を!

平成25年に改正された予防
接種法によって、予防接種の
種類、対象年齢、接種間隔の
変更等、保護者のスケジュー

リング管理が非常に複雑化して
います。そのため、接種忘れや
接種間隔の違いが多く見ら
れるようになりました。誤接

一見して通常の団体との相違
を見きわめることが事実上不
可能であり、一般利用者との
公平性の観点も考慮し、減免
の対象とはならないものと整
理しました。

【再質問】社会福祉活動団体
は登録制で、審査もしている
のではないのでしょうか。総会
など、団体の内部的会議は社
会福祉活動のためには不可欠
な要素であり、再考を求めま
す。
福祉部長 一考はしてみた
と思います。

少ないようです。

子どもたちの教育環境とし
て、生活の場として、また、
健康への影響からも学校トイ
レの洋式化は急務と考えます
が、現状と今後の取り組みに
ついて伺います。

市長 学校施設や公共施設
におけるトイレ改修の必要性
と、そのニーズが急激に高ま
っている状況については前向
きに受けとめています。

教育部長 現状での学校ト
イレの洋式率は、小学校が
45・5%、中学校が27・4%
であり、今後は、未改修の学
校を優先的に改修し、学校な
どの意見を聞きながら洋式化
に努めていきます。

種の未然防止には素早い効率
的な情報提供が大事です。

近年、子育て世代の保護者
のほとんどが携帯・スマート
フォンからの情報を求めてお
り、携帯・スマートフォンで
個別にスケジュール管理をし
てくれる予防接種お知らせメ
ール配信事業が全国に広まり
つつあります。生年月日や性
別などを入力すれば、子供一
人一人に合わせた予防接種の
スケジュールが配信されます。

この配信事業は、複雑な予防
接種に対する保護者の負担軽
減、ひいては問い合わせの減
少による職員の負担軽減、ま
た、予防接種率の上昇にもつ
ながると考えますが、本市に
おける予防接種メール配信事



吉田 義人 議員《新政いさま》

コミュニティバスの
さらなる利便性向上を!

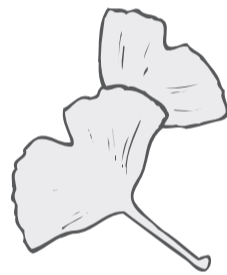
コミュニティバス運行事業
については、現在「市民あり
方検討会」で見直しの議論を
進めています。運行ルート
の空白地帯となっているひば
りが丘地区、座間地区、四ツ
谷・新田宿地区について、現
時点でのどのような対応を考
えているのか伺います。また、
ひばりが丘地区等の東部地域

は、来年開業予定の座間総合
病院の対角線上に位置し、病
院と最も離れた地域ですが、
病院へのアクセスをどのよう
に考えているのか伺います。

さらに、このたびの見直し
で事業の目的・役割といった
方向性が「利用促進と移動制
約者を主体とした市民の生活
の足としての利便性向上を図
っていく」との内容に変更され
ました。そこで、利便性向
上の観点から、行政界を越え

業についての見解を求めます。

健康部長 予防接種は、種
類、回数、間隔など大変複雑
な制度となっております。この
メール配信サービスは乳幼児
を持つ親にとっては大変役立
つツールで、育児不安の解消
にもなり、子育て支援の一環
と考えます。今後、前向きに
研究、検討していきます。



義人 議員《新政いさま》

て各鉄道の駅にバス停を設置
することや広域連携による他
市とのバスの相互乗り入れに
ついて検討すべきと考えます
が、当局の考えを伺います。

都市部長 ルートの見直し
は、ひばりが丘地区を含め、
考えています。また、病院へ
直接アクセスできない路線は、
市役所等の中継地点として検
討したい考えです。各駅への
アクセスや他市との広域連携
についても、生活圏と行政区
域とは一致しないという観点
から今後、検討していきます。



竹田 陽介 議員《新政いさま》

病児・病後児施設の新設
早い段階での設置へ

平成26年第4回定例会で
「病児・病後児対応型保育施
設の設置を求める請願書」が
提出され、全会一致で採択さ
れました。この請願書をどの
ように受けとめ、どのような
取り組みをされてきたのか、
また、座間市子ども・子育て
支援事業計画の中で、病児保
育の確保方策として、平成29
年度より新たに1施設での実
施に向けて取り組むとあるが、
事業実施に向けてどのような
取り組みがされているのか、
伺います。

福祉部長 請願書について
は重く受けとめるとともに、
さきに実施したニーズ調査で
も要望が高かったことから、



守谷 浩一 議員《日本共産党》

介護施設の居住費などを軽減する
補足給付の申請をしやすく

介護保険制度の補足給付の
申請について伺います。低所
得者の負担を軽減するための
居住費や食費の軽減措置が補
足給付です。この補足給付の
見直しで、単身世帯で貯蓄が
1000万円以上、夫婦で2
000万円以上、配偶者が課
税のいずれかに当てはまると
補足給付の対象外という変更
がされています。補足給付の
申請に当たっては、金融機関
に対する残高照会の承諾書の
提出などをしなければならま
せんが、利用者や家族からの
戸惑いの声は出ていないのか、
伺います。

また、現状の市の対応では、
預金通帳の写しや金融機関へ

質の高い幼児期の教育・保育
の総合的な提供や保育の量の
拡大・質の改善、地域の子ど
も・子育て支援の充実を目指
し策定した座間市子ども・子
育て支援事業計画の中で、病
児・病後児保育事業の現況と
課題、確保方策について検討
を重ねています。

また、病児保育事業の確保
方策については、子ども・子
育て支援事業計画で示したと
おり、新たに1施設での実施
に向け、平成25年3月に策定
した保育園整備計画の一部見
直しも含め、関係部署と調整・
協議を行い、なるべく早い段
階での設置を目標に進めてい
きます。



健康部長

利用者や家族か
らの戸惑いの声として、預金
通帳を提示すること自体に抵
抗がある、預金通帳の写し等
の用意ができない、面倒であ
るなどがありました。

また、金融機関への照会に
ついては、国で定められたル
ールに基づき、本年度は無作
為抽出によるものと疑義のあ
るものを照会する予定です。

